

今、
話題の

防火設備 大研究



合法的に防火戸を開放保持する方法！ 防火戸にマグネット・ドアホルダー

「月刊消防」編集室

大型店舗（複合施設）、教育施設、劇場ホール、集会場、映画館、空港、事務所ビル、ホテル、マンション等々防火地域内にある耐火建築物等に該当する建築物又は準防火地域内にある耐火建築物等若しくは準耐火建築物等のいずれかに該当する建築物、構造物には人命を守る防火戸が設置



されている。

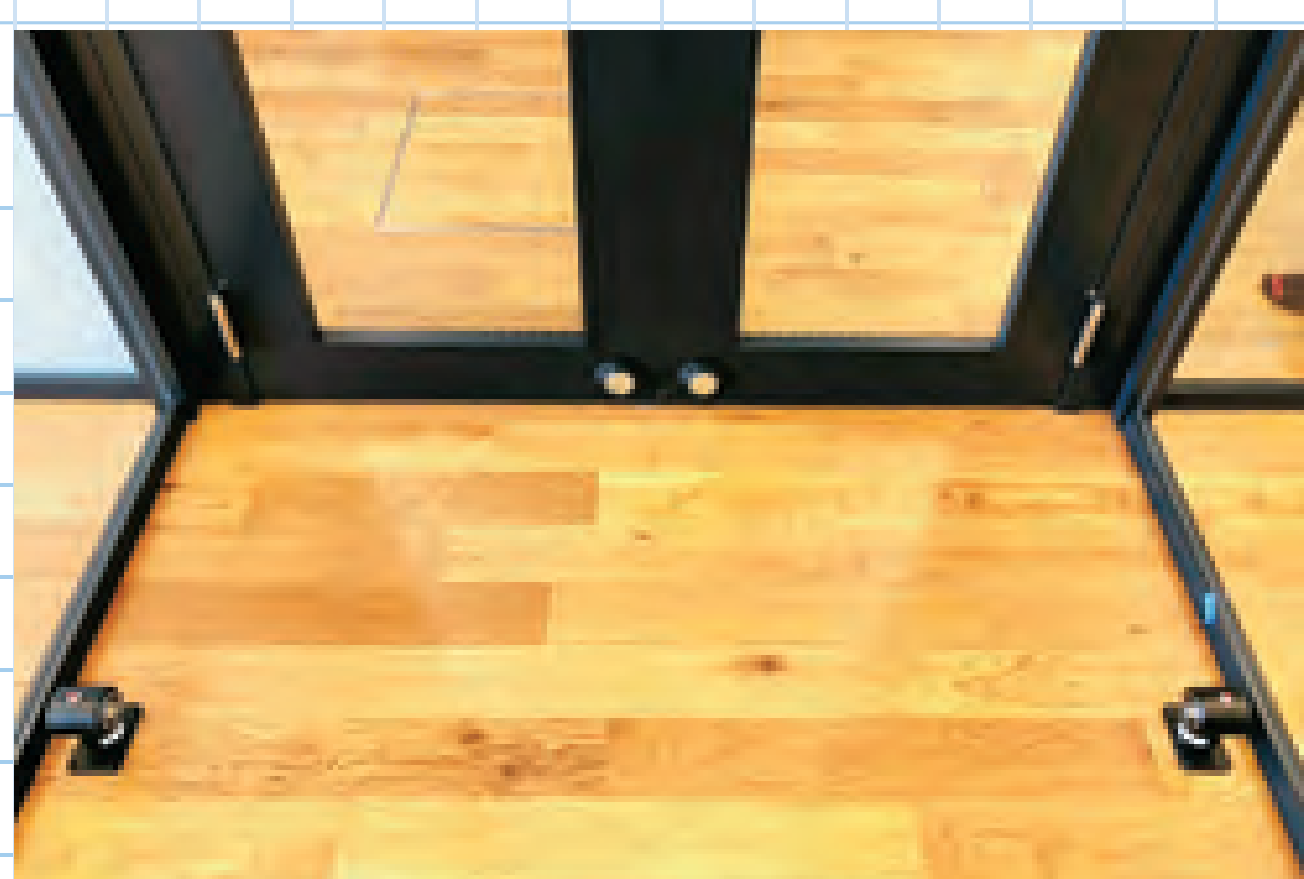
しかし、立入検査を行うと換気のためや荷物の搬入のためなどといった理由で防火戸にドアストッパーを挟み、開放しているケースがある。

そういった状況を発見したら、消防職員としては、是正させなければなりません。

それでも、「火災の延焼、拡大防止のために閉めておかなければならないのは理解できるけど、普段は扉は開けておきたい」という利用者のニーズがあるのも事実。この相反する規制とニーズを合法的に満たす方法が実在する。

それが『マグネット・ドアホルダー』である。『マグネット・ドアホルダー』は、防火設備と連動させ、火災発生を検知した時、防火設備からの信号を受け、自動的に供給電源を切り、戸を閉めるというフェイルセーフ『停

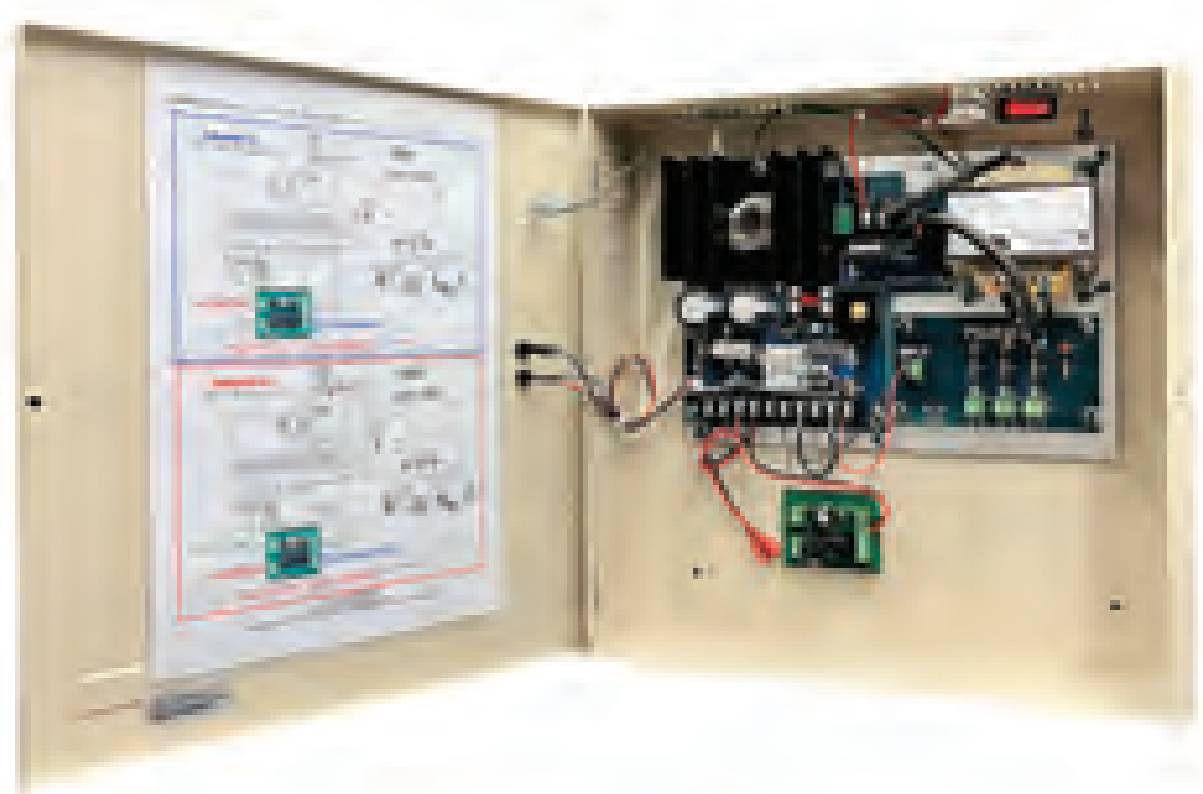
電時解』式の装置である。電源は標準DC24Vでパワーサプライ（専用連動制御盤）と連携して作動する。『マグネット・ドアホルダー』を使用することにより、常時閉鎖式防火戸、随時閉鎖式防火戸を開放して使用することが可能となる。



両開きドア用のマグネット・ドアホルダー床付型



床付マグネット・ドアホルダー



専用連動制御盤「パワーサプライ」